

車種別に製作された S45C のキャリパーブラケットを装着。 高張力キャップボルトにロックタイトで固定する。



なセッニ

ベンツのリアローターの中にはサイドブレーキが入るため、特製



工を含めて、わずか2時間強で終了した。



テスト走行のために17インチのプロドライブを手際よく装着す る田村さんは、ブレンボ修行中。

る。ブレーキホースはステンメッシュをチョイス。

テンレスメッシュホ スの取り回しに対応するために、スまた、キャリパーの変更に伴うホー -スを特注した。だするために、ス

リアへのブレーキキット装着は、手早い作業と段取りで追加加

全開走行から2500回転までの減的な超高速域4速6000回転超や 安全のための投資は、 **面積の増加によるペダルストロー** こと突入して、 ンツ流のフ が不可欠であることを改めて強く 体を制御するには、 を流している時の急制動に 装着前に気になったピストン数 れも不安なく対応してく ような感じ。 高速道路で 格段に高まった今日のタイ 一般道での時速0キロ前後で /流のフィーリッドールは極端に増えた感じもなく、 ルに活かして、 加速Gよりも大事な制動力、 500Eの新車当時と比べ ズズッと埋もれて 強力なブ やはり惜しく トン超の



現車合わせに必要なジェラルミン製ハットの追加加工も同社で 対応できるから車種ごとのワンオフはお手のもの。



硬質アルマイト処理のハット部。軽量化のための肉抜きと熱膨 張を吸収するフローティング加工が施される。



大径ディスクとポルシェ 993 ターボキャリパー装着のために、 新品のバックプレートをざっくりと切断。

大胆にもリアに奢る贅沢である。

踏むと停止線の数メートル手前制動力」。普段の慣れでブレー

トル手前で停

自動車雑誌の記事の比喩が陳腐に感

後ろから掴まれるが如っ

しまうほどである。

「巨人の手

るで大型の低反発クッションにクルマ

あえて言葉を探して例えれば、られるほどの制動力である。

の大きい993ター

4m×3mを装着することにし、きい993ターボ用の4ピスト

レッドロブスタ

と言

「中の荷物を片付けて

との言葉通り、

ん [超-

なる。そのため、

リアにパッド面積

期待ワクワクの試乗テスト るので極めてスムーズにオ らブラケット加工、ロークレイデザインではホ 自社で内製できる体制が整って

, はドラッグレース参加に向けて、リはドラッグレース参加に向けて、リある。 しかしながら、ヘアライン号

アにどうしても17インチを履く必要

あるので340㎜サイズが限界

エア抜きの後、 あとは手際良

ドモデルのフロント360





ペンションの性能を最大限に引き出曽根氏によれば、「履くタイヤ、サス

きた「クレイデザイン」店長の

が肝心」とのこと。

つまり、

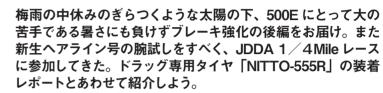
タルバランスのセッティング

ーキを強化してもタイヤ

Ò

Welcome to 500E CLUB

熱血的 W124 愛好家の広場



文・撮影 = ニイベサトシ ゼロヨン撮影・写真提供=ドラッグマガジン /JDDA 協力=アジアサービス/クレイデザイン/JDDA/NITTOジャパン/スピードジャパン

今月のメニュー

■大径ブレーキ装着(後編)

■JDDAドラッグレース参戦

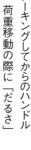
比較するとプアに感じる500Eのだが、残念ながら最近のクルマと ーオンのカツカツさではなく、 いるような絶大な安定感がある。 れどまったりとしていて芯が通っ ングマシンのロー トのようなピロ脚+ラック&ピ キ。性能アップのためのモディ シャシ イツ車でもポルシェやハン このバランスを崩. セッティングから、 -タスエリ だる

統のセオリ の長時間連続走行を前提と タルセッティングである。 ーがもたらすメルセデス サスペン 高速域

の根本的なフィーリングを一言でメルセデスベンツW124・50 強化するだけじゃダ えば 「芯のあるダルさ」 タルセッティングが重要

惜しむ無かれ、加速Gより大事な制動力!





る

リアにもブレンボを奢る前後バランスのために

ることはできないし、姿勢制御のたラクション、摩擦係数を超えて停ま

によるチグハグ感が強調されて

リジッド」とのフィ

リングの差

めのサスペンションとのマッチング

そのためで

マスターシリンダ それ以上のボア加工

・他車種流用は行なわなかった。 ジナルの「芯のあるダルさ」 ン号の場合も、

特にベンツの場合は、

先述の通り

うことが多いという。 スタンダー

だけリジッドなセッティングにす「芯のあるダルさ」を崩してブレー

だ。これまで数百台のメルセデス

ンスまでもが崩れて

しまうから厄介

ATに至るト

タル

ターのセットでは、前後のバランス㎜用に合わせられたリア330㎜ロー 回紹介したように のローター て聞いてみると、フロントに380㎞ 懸案の前後のバランス調整につ には355㎜が定石だとい -をセット した場合には、 R230S

155 ■問い合わせ: クレイデザイン TEL.048-998-3364

^。真のドレスアップには、やけール、タイヤのインチアップを行径、強力ブレーキ装着のために

キ装着のために



NITTO で叩き 1/4mile=13.181sec

ドラッグ専用ラジアルタイヤの中でも人気の NITTO 「555R」を装着し、粘着テープにも例えられる鬼グリッ 『で 400m を駆け抜ける! 外観はノーマルの 500E が GT-R ほか、国産チューニングカー相手に JDDA 第二戦 に参加した。

来ましたドラッグレース。 じゃあっていうことで、

正直ストレスを残すのもまた悲しい いホイールベース、ダルなフィールで、 挑戦して ルールは

げと、 必要。 通すような正確さと1/ 単位の反射神経、 を許さない競技内容の難しさは天下 だろうとのご意見もあろうが、ミス るだけだから、そんなに難しくな ヤレポートを速報する。 必要なのは言うまでもない。 れた「JDDA-EAST 第二戦」に参加 してきた。詳細は次号でお伝えする 一品である。 ドライバーには針の穴を 今月はそのために装着したタイ 早速仙台ハイランドで行なわ クルマにも専用セッティングが もちろん、本気で勝とうと思 集中力、精神力が 真っ直ぐ走 1000秒

キットでは500日の重い車重と長

プを狙うのもいいけれど、日本のサー

クローズドサーキットで、

タイムアッ

に走るわけにはいかない。それなら

走行も楽しいが、実際にはそんな風

ハイスピード域での車線を縫った

500E°

してしまうほどの大パワーを備える

ストリートでは真の実力をもて余

が勝ち。さて、そんなわけで善は急

402.336m を速く走り抜けた方

シグナルに合わせて停止から 1/4Mile

クリスマスツリーと呼ばれる

パフォーマンスを発揮 カタログスペックを上回る

な種類が発売されているが、 加できるラジアルタイヤまで、 タイヤを頂点に、手軽にレースに参 ヤ。ドラッグレースの本場アメリカで ト時のグリップ性能に優れたタイ NITTO555RJ° そこでまず思いつくのはスター 専用のバイアス構造のスリック 人気は 様々

ジャパン」が設立され、 ターンと、真四角に広がるトレッド のストリートラジアルで、独特な。 くなったのはユーザーにとっても嬉 多かったが、昨年、日本法人「ニットー シーズン中は入手困難になることも かつては、 グリップコンパウンドが特長である ンジにも例えられる柔らかさと、 圧に対応する内部構造、 トラクション増加のための低い空気 ンドで提供するドラッグレース専田 トーヨータイヤがNITTOブラ 並行輸入品のみの供給で 入手しやす そしてスポ

写真提供= © ドラッグマガジン

さて、その効果の程はというと

ションタイム) は、13・181秒と ションのセッティングなどで12秒台 60のカタログデータも0・319秒 500日のカタログデータを約1・3 予選での新生へアライン号が同タイ へのリーチも充分に期待できる。 た。今後、AT、マフラー、サスペン 上回るタイムを叩き出すことができ ヤを装着してのE/T 同じ6ℓエンジンを搭載した日 (エルミネー

タイヤ、 ことだから、 カのメルセデス有名チューナー 用意されている。ちなみに、アメリ 用で人気のSUV大口径ホイール対 グタイヤのほかにも、ドレスアップ 「INVO」はこの9月に発売予定との ンテック」の公式認定を得ている 応タイヤやスポコンモデル用の大径 同社のラインナップには、ドラッ ハイパワー車向けモデルが ベンツオーナーは目が



グリーンライトで好スタートの瞬 間。今回のベストリアクションタイ ムは 0.551。トラクションがかかっ たリアと持ち上がったフロント。そ んな地味なベンツの活躍にギャラ リーは大歓声。大馬力の国産ター ボ車を相手に、ゴール直前のデッ ドヒートを繰り広げた。

ドラッグ専用「天下無敵」の鬼グリッフ

T0555Rは、ドラッグレースに特化した独特のパター ンと広いトレッド、内部構造と専用コンパウンドが特長 ストリートでも走行可能なドラッグレース用タイヤの新分 野を創出し、世界中のドラッグフリークから高い評価を 得ている。新生ヘアライン号には275/40-17を装着。 500Eのような重量級の大パワー車にはお勧めの逸品。

■問い合わせ: ニットージャパン TEL.03-5736-2210 http://www.nittotire.co.jp